

各地の話題 丸森町

将来見直し農業を選択 都市部から移住し新規就農

2025年8月1日号掲載



日に焼けた顔は既に歴戦の勇士の趣。丸森町の堀哲弥さんは農業歴1年半の新規就農者だ。

転機は47歳の時に23年勤めた会社の仕組みが変わったことがきっかけ。将来設計を考え直し、農業なら長く続けられると思い選択した。当時住んでいた仙台近郊では耕作農地が見つからず、移住を視野に入れた所で丸森町に出会った。

選んだ理由を「町独自の事業も加え、就農支援に力を入れていた。本人のビジョンをもとに、研修先のあっせんや農地・住居の確保、家賃や借入金返済額の一部補助等も手厚い」と語る。

町内農家に弟子入りし学んだ後、令和6年の春に独立。師匠から学んだ「儲かっている農家は常に頭を使う」をモットーに、通年出荷を意識している。現在は約2.5畝でキャベツ、ニンジン、ブロッコリー等を育て、売上も順調である。

「経営が順調なのは周囲のおかげだ。今の経営を盤石にし、一人前の農家としてやっていきたい」と瞳を輝かせる。

【記事提供】 丸森町農業委員会

収穫中の堀さん



「私の相棒」と語るトラクターとアタッチメント一式

